

流山児★事務所 旅する劇場 2015/16

西遊記

JOURNEY to the WEST



有限会社 流山児オフィス (流山児★事務所)

〒162-0045 東京都新宿区馬場下町 60-307

<http://www.ryuzanji.com>

Twitter: @RyuzanjiCompany Facebook: /Ryuzanji

劇団担当者: 畝部七歩 (うねべななほ)

Email: unebe7@gmail.com (Nanaho Unebe)

【団体名】流山児★事務所

【タイトル】旅する劇場 2015/16 『西遊記』

流山児★事務所の世界を旅する「西遊記」。

天界、妖怪入り乱れ、三蔵法師が孫悟空、猪八戒、沙悟浄を従え天竺を目指す冒険活劇「西遊記」を鬼才：天野天街が前代未聞の歌謡冒険活劇に創り上げ、異次元・異空間に誘います。音楽は「アウトレイジ」「座頭市」「ゲゲゲの女房」などの映画音楽も手がけるムーンライダーズの鈴木慶一。

ジャパカルチャーの旗手が夢のタッグを組み、世代、性別、言語を超えて楽しんで頂く冒険宇宙を生み出します。乞う、ご期待！！

企画・芸術監督：流山児祥

演出：天野天街（少年王者館）
音楽：鈴木慶一（ムーンライダーズ）
企画：流山児祥



美術：V・銀太
振付：夕沈
映像：浜嶋将裕
照明：奥田賢太（コロレ）
音響：岩野直人（ステージオフィス）
衣装：竹内陽子
ヘアメイク：川村和枝（p.bird）
舞台監督：吉木均
演出助手：廣田裕美 制作：畝部七歩

絵文字：山田勇男 宣伝美術：アマノテンガイ 写真：横田敦史
協力：少年王者館、ムーンライダーズ・ディヴィジョン、グローシャ
フレンズリー、スーパーエキセントリックシアター
主催：有限会社流山児オフィス（流山児★事務所）
助成：文化庁文化芸術振興費補助金（トップレベルの舞台芸術創造事業）

出演：伊藤弘子、上田和弘、谷宗和、イワヲ、甲津拓平、小林七緒、平野直美、
坂井香奈美、五島三四郎、佐原由美、V・銀太、流山児祥、ほか日替り豪華ゲスト。

上演時間 1 時間 30 分（予定）

ツアーメンバー 20 名 キャスト 12 名・スタッフ 8 名（男 12 女 8）

■四日市公演 会場：四日市市文化会館

2015年10月15日(木)19:00

16日(金)19:00

チケット：全自由席・整理番号付き

〔料金〕前売券 一般 3,000円/学生 1,500円

当日券 一般 3,300円/学生 1,600円

〔取扱〕

四日市市文化会館 窓口 9:00~19:00

よんぶんネット <http://yonbun.com> (24時間)

電話受付 059-354-4501

チケットぴあ 0570-02-9999 Pコード 444-889

主催 (公財)四日市市文化まちづくり財団 助成 (公財)三重県文化振興財団

■津市公演 会場 津市芸濃総合文化センター

2015年10月18日(日)15:30

チケット：全席自由 【前売り開始】2015年7月17日(金)

〔料金〕前売券 一般 3,000円/小中学生 500円

当日券 一般 3,300円/小中学生 800円

〔取扱〕

津市芸濃地区社会協議会 窓口 9:00~19:00

流山児★事務所 <http://www.ryuzanji.com>

チケットぴあ TEL0570-02-9999 (Pコード 445-625) <http://pia.jp>

企画：芸濃町を芸濃い町にするプロジェクト

■東京公演 会場 下北沢 ザ・スズナリ

2015年10月22日(木)~10月28日(水)

22日(木)19時30分

23日(金)19時30分

24日(土)15時

25日(日)15時

26日(月)19時30分

27日(火)15時と19時30分

28日(水)15時

※開場は開演の20分前

チケット：日時指定整理番号付き・自由席 【前売り開始】2015年7月25日(土)

〔料金〕前売券 一般 3000円 / 学生 2500円 / 初日割引 2500円 (22日のみ)

前売券 一般 3500円 / 学生 3000円 / 初日割引 3000円 (22日のみ)

〔取扱〕 流山児★事務所 TEL 03-5272-1785 <http://www.ryuzanji.com>

イープラス <http://eplus.jp>

チケットぴあ TEL0570-02-9999 (Pコード 445-625) <http://pia.jp>

ローソンチケット TEL0570-000-407/0570-084-003 (Lコード 35944) <http://l-tike.com>

ザ・スズナリ TEL03-3469-0511 (電話予約のみ)

天野天街（脚本・演出） Tengai Amano

劇作家、演出家

1960年愛知県一宮市生まれ。1982年「少年王者館」結成し、名古屋を拠点として全国的に活躍。演劇、ダンス、人形劇、コンサート、ファッションショー等幅広いジャンルの舞台演出を多数手掛ける傍ら、漫画執筆、デザイン・ワーク、エッセイ等の分野でも活躍。1994年短編映画『トワイライツ』を監督、ドイツオーバーハウゼン国際映画祭・メルボルン国際映画祭短編部門でグランプリ受賞。

代表作は『真夜中の弥次さん喜多さん』、『平太郎化物日記』、『アジサイ光線』、『田園に死す』など



鈴木 慶一（音楽） Keiichi Suzuki

ミュージシャン、音楽プロデューサー、

1951年8月28日 東京 羽田生まれ。1972年に「はちみつぱい」を結成、1975年、「ムーンライダーズ」を結成。ムーンライダーズの活動と並行して、70年代半ばよりアイドルから演歌まで多数の楽曲を提供すると共に、膨大なCM音楽を作曲。任天堂より発売された「Mother」、「Mother2」の音楽は、今でも世界中に多数の熱狂的なファンを持つなど、国内外の音楽界とリスナーに多大な影響を与えている。

映画音楽では、北野武監督「座頭市」の音楽で、第27回日本アカデミー賞最優秀音楽賞、第36回/シッチェス/国際カタルニヤ映画祭オリジナル楽曲賞を受賞した。第50回日本レコード大賞優秀アルバム賞を受賞。



流山児祥（主宰・芸術監督） Show Ryuzanji

流山児★事務所代表。芸術監督。演出家・俳優。

日本演出者協会副理事長。〔社〕日本劇団協議会理事。

1947年11月熊本県荒尾市生まれ。状況劇場、早稲田小劇場を経て、1970年「演劇団」を旗揚げ、「第二次小劇場世代」のリーダーとして三十余年を疾走。その演出作品は日本演劇界で前人未到の250本に及ぶ。『青ひげ公の城』『ハイ・ライフ』『ユーリントウン』など数多くの話題作を国内外で演出・プロデュースし国際的に高い評価を得ている。「演劇の持つ自由さ」を追い求め「世界」を飛び廻る。

近年は「シニア演劇ワークショップ」を日本全国で展開し注目を集める。

また、役者としても映画、テレビで異彩を放つ。声優としては「るろうに剣心」の「盲剣の宇水」、「宇宙兄弟」の「星加正」役で話題を呼んでいます。





“UrineTown” Ryuzanji Company 2011

団体概要

(りゅうざんじ じむしょ) 日本の現代演劇革命を担った 60 年代のアングラ=小劇場運動の雄、状況劇場 (唐十郎: 代表)、早稲田小劇場 (鈴木忠志: 代表) の 2 つの劇団を経て、流山児祥が 1984 年に設立したシアターカンパニー。以来 30 年、劇団の枠を超えた出会い、交流、創作活動の場を演出家、作家、俳優たちに数多く提供し、今日のプロデュース公演の先駆的な役割を果たす、小劇場界のネットワーク構築を目的として設立された演劇企画事務所でもある。

日本の舞台芸術を牽引する劇団として、留学生の受入れや海外との舞台芸術交流事業も積極的に推進。歌舞伎、シェイクスピアから新進気鋭の若手劇作家の創作劇からブロードウェイミュージカルまで、多岐にわたる「表現の自由さ」で、舞台芸術の「無限の可能性」を求めて公演活動を行っている。

また、45 歳以上の中高年のための演劇集団「楽塾」(1998～)、平均年齢 82 歳の高年齢演劇人劇団「パラダイス一座」(2006～) を旗揚げ。楽塾は 2012 年に初の海外公演を行いカナダ・ビクトリアの演劇祭に参加、ベスト・アンサンブル賞を受賞した。「楽しいモノを見ると人は元気なる！」をモットーに前代未聞の「シアトリカル・レボリューション」を行い、日本におけるシニア演劇ムーブメントのさきがけとなっている。1991 年「流山児マクベス」ソウル公演以降、毎年のように海外公演も行っている日本の現代演劇を代表する劇団のひとつである。

旅する劇場シリーズ

- ★ [『花札伝綺』](#)
- ★ [『鼠小僧次郎吉』](#)

●主な受賞歴

86年2月	ヨコハマ映画祭自主製作映画賞『血風ロック』（監督：流山児祥）
90年2月	初日通信大賞『青ひげ公の城』作品賞・演出賞・助演女優賞
94年2月	第38回岸田國土戯曲賞『ザ・寺山』（鄭義信）
98年2月	第5回読売演劇大賞優秀男優賞『愛の乞食』（古田新太）
00年9月	カナダ・ビクトリア国際演劇祭グランプリ受賞『狂人教育』
03年3月	第5回東京芸術劇場ミュージカル月間『青ひげ公の城』優秀賞 第10回読売演劇大賞優秀女優賞・小田島雄志賞(池田有希子)
05年6月	第5回愛知芸術劇場演劇祭・グランプリ受賞『ハイ・ライフ』
06年4月	第11回飛田演劇賞最優秀前衛賞(流山児祥)
07年4月	第7回倉林誠一郎記念賞 個人賞(流山児祥)『オールド・バンチ』
09年12月	第44回紀伊国屋演劇賞団体賞『ユーリントウン』『ハイライフ』 『田園に死す』
10年2月	第37回伊藤薫賞『ユーリントウン』（水谷雄司）
12年9月	『花札伝綺』NY Overall Excellence Award 受賞, The pick of fringe 受賞
13年9月	『楽塾歌舞伎☆十二夜』 カナダ・ビクトリア演劇祭 ベスト・アンサンブル賞受賞

●主な海外公演実績

91年8月	韓国 ソウル教育文化会館 『流山児マクベス』
99年8月	韓国 果川国際演劇祭 『狂人教育』
00年8~9月	カナダ3都市公演『狂人教育』 エドモントン、ビクトリア、バンクーバー公演。ビクトリアでグランプリ受賞。
01年9月	エジプト・カイロ国際実験演劇祭 『人形の家』
02年9月	北京、香港、澳門、モスクワ 『人形の家』
03年3月	トロント・ブライス・ソルトスプリング・バンクーバー 「狂気と芸術の世界芸術祭」招待 Asia Meet Asia 2003 参加 『人形の家』
03年6月	韓国・水原華城国際演劇祭 招待参加 『人形の家』
05年2月	イラン（ファジル国際演劇祭）・ベラルーシ・モスクワ・中国 『盟三五大切』
06年3月	中国・北京『人形の家』『静かなうた』『ハイ・ライフ』3本連続上演。
08年9月	上海大劇院、香港、杭州、早稲田大学大隈講堂、仙台、札幌、日中共同製作『狂人教育』
09年9月	マカオ・台湾・カナダ・ビクトリア(ビクトリア国際演劇祭特別招待)・ソルトスプリング・東京『ハイライフ』
11年7月	インドネシア バンドゥン（インドネシア芸術学院 STSI）・ジョグジャカルタ（Tembi Tari Apresiasi 2011）『卒塔婆小町』 『花札伝綺』
12年	エジンバラ・フリンジ演劇祭、NY 国際フリンジ、ビクトリア・フリンジ、バンクーバー国際フリンジフェスティバル参加『花札伝綺』
13年	カナダ・ビクトリア・フリンジ・フェスティバル『楽塾歌舞伎☆十二夜』
14年	モントリオール・ニューヨーク ツアー『花札伝綺』
15年	韓国アートスペース SM, 、台湾国際芸術祭招待 『義賊☆鼠小僧次郎吉』

현해탄을 건너온 맥베드

시인스피어의 맥베드가 가극 형태로 입고 흥을 풀고 서울에 나타났다. 일본 '유진지 컴퍼니'의 연극 '맥베드'는 새로운 시각으로 현대적 접근을 해서 화제가 되었다.

글·도다 이쿠오 / 사진·조대형

What to do Tomorrow?

By Liu An

Can three men act out a story by themselves? Some might be sceptical, but a drama named *Fighting Mayday (Unusual Meeting Gansu)* was performed very successfully by three men, showing an attractive and thoughtful story. The drama was staged for the TNT mini theatre opening ceremony in Chaoyang District from last Friday to this Monday.

Directed by China's leading conceptual dramatist Li Lianli from Beijing People's Art Theatre, the show stars Wu Gang (as big brother), Huang (as third brother) and Lan Xiyao (as little brother). This is the fourth production of *Fighting Mayday* since its successful debut in 2000, when it was favored both by critics and the box office. In 2001, *Fighting Mayday* went to Tokyo as part of the 106th Theatre festival and earned the appreciation of Japanese and Korean dramatists.

Four men plan to get together to play *meeting*, having decided to give it up after one final game. Three of them gather to wait for the second brother for the final game at midnight. They ring him many times, but there's no response. Then they start to guess where the second brother

Editor: YU

التجريبي

2001

المبدعون يتأقنون تحت سماء القاهرة

2001

The English-language daily of Cairo Int'l Festival for Experimental Theater No.1-September 1, 2001

You see things as they are and ask, "why?" I dream things as they never were and ask, "why not?" - G. B. Shaw

高級活

流山児★事務所

9/11 ~ 9/13

★01 2003年日本演劇藝術賞「演劇」評選年度最優秀導演★
★05年愛知国際演劇祭最優秀作品賞★

票價 / 500

男たちの挽歌 完結篇

エレジー

RYUZANJI COMPANY JAPAN HANAFUDA DENKI

A Tale of Fantastic Traditional Playing Cards

by Shuji Terayama

The Ryuzanji Company is proud to present *Hanafuda Denki* as part of the largest arts festival in the world, The Edinburgh Festival Fringe. This version of Bertolt Brecht's *Threepenny Opera* by Japanese avant-garde master Shuji Terayama sees life and death reversed in a nihilistic musical comedy.

Set in a 1920s Tokyo underground's parlor and performed in Japanese with English subtitles, *Hanafuda Denki* features an all-lead cast. When a family's beloved only daughter recklessly falls in love with a living boy, her angry father sets out to lure her back into death's cold embrace.

Through richly entertaining music and dance, the cast - with the use of 200-like makeup and colorful kimonos - capture an insidious chain of contradictions, in which even the dead cannot escape death.

The Tokyo-based Ryuzanji Company has performed in more than 30 cities around the world, in countries including Egypt, South Korea, China, Taiwan, Russia, in Canada in 2000. Ryuzanji received the Grand Prix Award Best of Fringe at the Victoria Fringe International Theatre Festival. This is their first UK appearance!

Cast:
Hiroko Ito, Kazuhiko Ueno, WAO, Muneaki Terai, Kazuko Sakai, Chiara Tomizawa, Naomi Hara, Akiyo Koyama, Kazuo Sakai, Risa Yamamoto, Makiko Honda, Show Ryuzanji

Director: Shuji Terayama
Music: Masao Honda, Chiyomasa Terauchi
Subtle Translation: Gaku Tanaka, Lighting: RCM, Etsuko Yamaguchi
Source: Masao Honda, Shuji Terayama, Shoji Terayama, Kazuo Sakai, Risa Yamamoto, Makiko Honda, Show Ryuzanji
Promoter: Naoko Tanaka

Supported by Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology
流山児★事務所
60-307, Ebisuhara, Shibuya, Tokyo, JAPAN

venue 34
ADAM HOUSE
CHAMBERS STREET
0845 260 1234
www.theFringe.co.uk

venue 34
ADAM HOUSE
CHAMBERS STREET
0845 260 1234
www.theFringe.co.uk

URINTOWN-THE MUSICAL

Ryuzanji ★ Company

The New York Times

Frige Festival in Review

流山児★事務所 『西遊記』

Ryuzanji Company Reviews from the 2012 "The Dance of Death" tour:



"Performed with full-tilt commitment and unusual discipline... rowdy, propulsive energy that almost never flags." – New York Times

★★★★★ *"Pitch-black comedy" – Hairline Reviews*

"It's Cirque Surreal!!" – Plank Magazine

"Delightfully overwhelming from start to finish, this spectacle-driven production is an hour and change well spent." – Theatre is Easy

"The players perform a seemingly impossible balancing act, remaining completely committed while winking at the audience, bringing them in on the fun." – Backstage

"If this is hell, sign me up. Heck, I'll even become fluent in Japanese." – nytheatre.com

"You might ponder the point at first, but stick with the show: A piercing revelation at the climax will haunt you on your way out." – Time Out New York

"Thus far, Hanafuda Denki blew my mind on the levels of creativity, theatricality, humour, talent and pure delight." – CiTR Radio